

IV 研修及び相談・情報提供

感染症情報センターでは、研修及び相談・情報提供業務を情報センターの情報収集、発信機能の一つとして位置付けている。本項目の報告については、年度単位での実績を報告する。

1 感染症情報センター研修会

当センターでは、平成30年度に県内保健所職員等を対象とした感染症情報センター研修会を4回開催した(表IV-1-1)。

共催という形では、県保健医療部医療整備課と「医療機関における院内感染対策研修会」を開催した(8月)。独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院から外部講師を招いて『薬剤耐性菌を含む病院での院内感染対策』と題した特別講演を開催し、病院における感染対策の実情や薬剤耐性菌対策の実際について学んだ。

「感染症情報センター研修会」(12月)では、公益社団法人食品衛生協会から外部講師を招き、『ノロウイルスによる感染症・食中毒の現状と対策』と題した特別講演を開催し、ノロウイルスの発生状況や検査法、対策の詳細を学んだ。

表IV-1-1 平成30年度埼玉県感染症情報センター主催研修会実施状況

No.	研修会名称	対象者	実施日	参加人数	講師
1	平成30年度「O157等感染症発生原因調査事業」説明会	県内保健所職員(さいたま市、川越市、越谷市及び川口市を含む)、市検査担当職員、県食肉衛生検査センター職員、県衛生研究所職員	H30.6.7	37	県感染症情報センター感染症疫学情報担当職員、臨床微生物担当職員
2	平成30年度医療機関における院内感染対策研修会	県内保健所職員(さいたま市、川越市、越谷市及び川口市を含む)、県保健衛生主管課職員、県衛生研究所職員	H30.8.6	61	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院坂木晴世氏、県感染症情報センター感染症疫学情報担当職員、臨床微生物担当職員
3	平成30年度感染症情報センター研修会	県内保健所職員(さいたま市、川越市、越谷市及び川口市を含む)、県保健衛生主管課職員、県衛生研究所職員、県内市町村職員	H30.12.6	59	公益社団法人食品衛生協会野田衛氏、県感染症情報センターウイルス担当職員
4	平成30年度「O157等感染症発生原因調査事業」報告会	県内保健所職員(さいたま市、川越市、越谷市及び川口市を含む)、市検査担当職員、県食肉衛生検査センター職員、県保健衛生主管課職員、県衛生研究所職員	H31.3.8	37	県感染症情報センター感染症疫学情報担当職員、臨床微生物担当職員、県食品安全課職員

2 研修への講師派遣

平成30年度は、当センターから研修講師を16回派遣した。内訳は表IV-2-1のとおりであった。

表IV-2-1 平成30年度埼玉県感染症情報センター研修講師実績

No.	研修会名称	主催者	対象者	実施日
1	平成30年度 感染症対策担当者研修会	県保健医療政策課	県内保健所感染症担当職員等	H30.4.20
2	平成30年度埼玉県プール等衛生管理 研修会	県生活衛生課	県内保健所職員（さいたま市、川崎市、及 び越谷市を含む）等	H30.6.1
3	平成30年度社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会感染症基礎研 修	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 研修開発部 福祉研修センター	社会福祉施設、市町村社協、介護保険事業 施設の職員等	H30.6.28
4	平成30年度医療機関における院内感 染対策研修会	県衛生研究所、県医療整備 課	県内保健所職員（さいたま市、川崎市、越 谷市及び川口市を含む）、県保健衛生主管 課職員、県衛生研究所職員	H30.8.6
5	平成30年度社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会感染症専門研 修 A日程：子供にかかりやすい感染症	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 研修開発部 福祉研修センター	社会福祉施設、市町村社協、介護保険事業 施設の職員等（保育園・保育所、児童養護 施設、障害福祉サービス施設等職員）	H30.9.6
6	感染症担当者会議	県保健医療政策課	県内保健所感染症担当職員等	H30.9.6
7	平成30年度社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会感染症専門研 修 B日程：高齢者にかかりやすい感 染症	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 研修開発部 福祉研修センター	社会福祉施設、市町村社協、介護保険事業 施設の職員等（特別養護老人ホーム、介護 老人福祉施設、老人保健施設、障害福祉 サービス施設職員等）	H30.9.13
8	福祉施設におけるノロウイルス感 染対策研修会 「ノロウイルス感染症とその対策に ついて」	県狭山保健所	西部福祉事務所管内福祉（入所）施設、市 町村及び県職員等	H30.10.10
9	埼玉県臨床検査技師会 生涯教育研修会 公衆衛生検査・微生物検査研究班研 修会「冬季のウイルス感染症」	公益社団法人埼玉県臨床検 査技師会公衆衛生検査研究 班	埼玉県臨床検査技師会会員	H30.10.19
10	平成30年度養護教員10年経験者研 修会	県立総合教育センター	平成30年度養護教員10年経験者研修会	H30.11.12
11	包装責任者研修会	県保健医療政策課	埼玉県内のゆうパックを利用して検体を送 付する包装責任者取得を目指す者	H30.11.12
12	短期研修（ウイルス研修）	国立保健医療科学院	地方衛生研究所ウイルス検査担当職員等	H30.11.12 -15
13	第20期救急救命士養成訓練	埼玉県消防学校	救急救命士養成課程受講者	H30.11.19
14	平成30年度埼玉県感染症リスクマ ネジメント研修会	県保健医療政策課	県内保健所感染症対策担当職員等	H30.11.30
15	平成30年度埼玉県予防接種行政担 当者会議	県保健医療政策課	県内保健所、市町村職員等	H31.1.8
16	感染症担当者会議	県保健医療政策課	県内保健所感染症担当職員等	H31.1.29

3 研修の受講

平成30年度の当センター職員の研修会受講状況は表IV-3-1のとおりであった。

受講者は、研修内容等を随時他の職員に伝達し、職員相互での情報・知識・技術の共有及び向上に努めた。

表IV-3-1 平成30年度埼玉県感染症情報センター研修受講状況

No.	研修会名称	主催者	目的・内容等	期間	受講人数
1	平成30年度 感染症対策担当者研修会	県保健医療政策課	感染症担当職員の業務における知識の習得	1日	2
2	平成30年度 病原体等の包装・運搬講習会	厚生労働省健康局結核感染症課	病原体等の運搬の基本となる梱包方法及び関係法規の習得 ゆうパック利用に係る遵守事項と梱包の実技等の習得	1日	3
3	感染症危機管理研修会	県保健医療政策課	危機管理の視点から見た感染症	1日	1
4	レジオネラ対策シンポジウム	NPO「入浴施設衛生管理推進協議会」	「知っておきたいレジオネラ属菌の検出方法」をテーマに現場で役立つ情報の提供と専門的あ内容を分かりやすく解説する	1日	2
5	平成30年度五縣市合同研修会	県衛生研究所	食品衛生の最近の動向	2時間	5
6	第93回日本結核病学会総会	日本結核病学会総会	結核に関する最新知識の習得と情報交換	2日	1
7	平成30年度「O157等感染症発生原因調査事業」説明会	県感染症情報センター	食中毒を含む感染症発生時の対応における実務担当者のスキルアップにおける及び感染症担当者と食品衛生担当者間での協力体制の向上	2時間	6
8	マイクロピペット日常メンテナンス・修理入門講習	MS機器株式会社	マイクロピペットの日常メンテナンス方法の習得	1日	1
9	第39回衛生微生物技術協議会	衛生微生物技術協議会 (国立感染症研究所)	衛生行政に関する衛生微生物の情報交換、技術の向上及び会員の相互の連絡、協調を図る	2日	3
10	埼玉県環境監視員等研修会	県生活衛生課	埼玉県内に勤務する環境衛生に係る職員の資質向上を目的とし、環境衛生に関する調査研究の発表と特別講義	1日	4
11	NGS研修	東京都健康安全研究センター	NGSの装置の使用方法、洗浄方法、ライブラリー調整方法、データ解析方法	2日	3
12	平成30年度第2回精度管理研修会 (食品GLP復命等研修会)	県衛生研究所精度管理担当	「平成30年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会」の伝達 厚生労働科学研究事業 平成30年度第2回班会議・研修会の報告	1.5時間	5
13	平成30年度医療機関における院内感染対策研修会	県衛生研究所、県医療整備課	埼玉県の医療機関における院内感染対策を強化する取り組みとして、保健所職員の資質向上を目的とする	2.5時間	6
14	H30年度第1回病原体の取扱いに関する研修会	県衛生研究所	①バイオセーフティ研修伝達講義②感染症法の概要と病原体等検査業務管理要領について 感染症法の規定に従った特定病原体等の適切な取扱い方法の習得及び確認	1日	3
15	第3回南部保健所保健所別研修院内感染対策研修会	県南部保健所	医療機関で実施する院内感染アウトブレイク対応についての理解を深める	3時間	1
16	平成30年度第3回精度管理研修会/第1回病原体の取り扱いに関する研修	県衛生研究所精度管理担当	アズワン安全技術セミナー(バイオセーフティ) 感染症法の規定に従った特定病原体等の適切な取扱い方法の習得及び確認	2.5時間	4
17	NGS検査解析研修	国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター	NGSの装置の使用方法、洗浄方法、ライブラリー調整方法、データ解析方法	2日	4

18	関東甲信越地区結核予防技術者地区別講習会	東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課	結核対策に必要な最新の知識と技術の習得及び新しい施策の周知を図るとともに、広域的な結核対策ネットワークの構築を図る	2日	2
19	平成30年度感染症集団発生対策研修	国立保健医療科学院	実地疫学に基づく調査方法の知識・技術をもち、食中毒・感染症・原因不明疾病の集団発生時の対応など、感染症健康危機管理への対応を科学的に妥当な方法で行うことを目的とする	5日	1
20	薬剤耐性菌の検査に関する研修	国立感染症研究所	薬剤耐性菌検査の基礎的知識及び検査技術の習得	3日	1
21	イルミナiSchool「NGS超入門」	イルミナ	NGSの原理・基礎用語及び実験の組み立て方の基本を学ぶ	0.5日	1
22	バイオセーフティ技術講習会（主任管理コース）	バイオメディカルサイエンス研究会	講義・実習により微生物学的知識と技術の基礎を習得	3日	1
23	NGS操作研修	イルミナ	当所に導入されたNGS(Miseq)の使用方法、管理方法、データ解析方法について知る	3日	7
24	NGSデータ解析ソフトウェア研修	フィルジェン	当所に導入されたNGSデータ解析ソフトによるデータ解析方法について知る	0.5日	7
25	平成30年度予防接種従事者研修会	公益財団法人予防接種リサーチセンター	予防接種の実施にあたっての医学的・制度的な基礎知識及び最新知識等の習得	4時間	1
26	精度管理研修会	県衛生研究所精度管理担当	「微生物試験に求められる試験室の管理及び試験結果の妥当性確保」－ISO/IEC 17025:2017が求めるもの－	2時間	4
27	第77回日本公衆衛生学会	日本公衆衛生学会	公衆衛生の向上、増進に寄与する科学的エビデンスの習得及び公衆衛生活動の実践状況の把握	3日	5
28	第67回日本感染症学会東日本地方会学術集会	日本感染症学会	感染症の臨床および関連諸分野の学術の最新知識の習得	3日	1
29	新型インフルエンザ検査研修	県衛生研究所ウイルス担当	新型インフルエンザとその発生時の検査対応について知る	2日	11
30	保健医療科学院短期研修ウイルス研修	厚生労働省	ウイルス性感染症と検査技術について最新の知見を得る	14日	1
31	平成30年度感染症対策講習会	公益社団法人日本ペストコントロール協会	蚊、ペットを介した感染症、高病原性鳥インフルエンザウイルス、アタマジラミ等の感染症流行、自然災害等に起因する感染症防疫の観点から、感染症リスクへ対応する組織構築を目指す	1日	1
32	第22回腸管出血性大腸菌感染症研究会	第22回腸管出血性大腸菌感染症研究会	腸管出血性大腸菌に関する調査研究及び情報交換	2日	2
33	衛研セミナー トコジラミとその防除 一般財団法人日本環境衛生センター	県衛生研究所企画・地域保健担当	トコジラミとその防除について知る	2時間	1
34	南部保健所健康危機管理研修	県南部保健所	炭疽によるバイオテロを想定した行政対応	1日	1
35	平成30年度朝霞保健所危機管理研修会	県朝霞保健所	危機管理の視点から生物テロ等等対策について学ぶ	3時間	1
36	平成30年度地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部第8回公衆衛生情報研究部会総会・研究会	茨城県衛生研究所	公衆衛生情報に関する知識の習得等	3.5時間	3
37	埼玉県感染症リスクマネジメント研修会	県保健医療政策課	感染症のリスクマネジメントについて理解を深める	3時間	4
38	平成30年度感染症情報センター研修会	県感染症情報センター	ノロウイルス感染症の全体像と流行中のノロウイルスの特徴について理解を深める	3時間	15
39	キアゲンTBシンポジウム	株式会社キアゲン	QFT-Plusに関するシンポジウム	1日	2
40	第25回リケッチア研究会 第11回リケッチア症研究会	リケッチア研究会 リケッチア症研究会	リケッチア、ダニ媒介感染症に関する情報収集	2日	1

41	平成30年度埼玉県予防接種行政担当者研修会	県保健医療政策課	予防接種の実際を理解する	2.5時間	1
42	第32回公衆衛生情報研究協議会	岡山県環境保健センター	公衆衛生情報に関する知識の習得等	2日	2
43	第46回建築物環境衛生管理全国学会	公益財団法人 日本建築衛生管理教育センター	建築物の環境衛生に携わる様々なものの知識の向上	1日	2
44	第30回日本臨床微生物学会	日本臨床微生物学会	感染症・臨床微生物学についての最新知識の取得・情報交換	3日	2
45	生活衛生関係技術担当者研修	厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課	建築物衛生及び公衆浴場等生活衛生関係技術担当職員に対し、関係施策等に関する最新の情報提供及び対策の推進	1日	3
46	第31回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部	感染症に係る細菌系病原体検査の講演および研究発表	2日	6
47	希少感染症診断技術研修会	厚生労働省健康局結核感染症課	感染症診断技術における最新知識の習得	1日	2
48	希少感染症診断技術研修会	国立感染症研究所	希少感染症に関する最新知識と技術の習得	1日	2
49	カキのノロウイルス検査法（感染性推定遺伝子検査法）研修	農林水産省消費・安全局食品安全政策課	カキ中の感染性を有するウイルス遺伝子のみを検査する方法を取得する	0.5日	1
50	病原体等取扱いに係る教育訓練 災害時病原体取り扱い訓練	県衛生研究所	病原体の取扱い中の災害発生に対応できるようにする	1時間	7
51	平成30年度「O157等感染症発生原因調査事業」報告会	県衛生研究所	腸管出血性大腸菌感染症患者の発生状況及び分離株の遺伝子解析結果の報告	0.5日	11
52	平成30年度全国結核対策推進会議	公益財団法人結核予防会結核研究所	結核に関する最新知識の習得と情報交換	1日	2
53	2018年度レジオネラ属菌検査セミナー	日水製薬株式会社	レジオネラ属菌検査サーベイランス報告および検査法の現状と今後の展望	1日	1
54	キアゲンIGRAセミナー	株式会社キアゲン	結核の診断と治療等、様々な状況下でのIGRA検査を用いた診断と役割への理解を深めるため	1日	3

4 研修受け入れ

感染症情報センターで受け入れた平成30年度の研修は、表IV-4-1のとおりであった。

主に感染症情報センター担当の業務紹介、及び検査・研究設備の見学、意見交換等を行った（表IV-4-1）。

表IV-4-1 平成30年度埼玉県感染症情報センター研修受け入れ実績

No.	来所者	目的・内容	対応	実施日
1	ガーナ野口研究所所長 国立病院機構三重病院臨床研究部長	ガーナ国別研修「基礎研究とサーベイランスの連携強化研修」	業務紹介、意見交換、検査・研究設備の見学等	H30.6.11
2	越谷市保健所検査課職員	麻しん検査研修 麻しん検査の実際を知る	検査・研究設備の見学等	H30.6.20
3	川越市保健所検査課職員	シーケンサー見学	検査・研究設備の見学等	H30.6.29
4	埼玉医科大学臨床検査技師	埼玉医科大学大学生実習 施設見学	業務紹介、検査・研究設備の見学等	H30.8.20
5	県保健所医師	社会医学系専門医研修 衛生研究所の業務内容についての研修	業務紹介、意見交換、検査・研究設備の見学等	H30.12.6, 12.11,12.12, 12.18,12.19
6	長野県環境保全研究所微生物担当職員	施設見学	検査設備の見学等	H30.12.14
7	大学獣医学部学生	平成30年度公衆衛生獣医師インターンシップ	業務紹介、検査・研究設備の見学等	H31.2.18

5 相談業務

感染症疫学情報担当では、平成14年4月に感染症疫学情報担当が発足して以来、情報の収集・解析及び還元情報の効果を評価するために、担当に寄せられた問い合わせ内容を、相談データとしてMicrosoft Access上に構築したデータベースに蓄積し、相談の傾向を把握している。

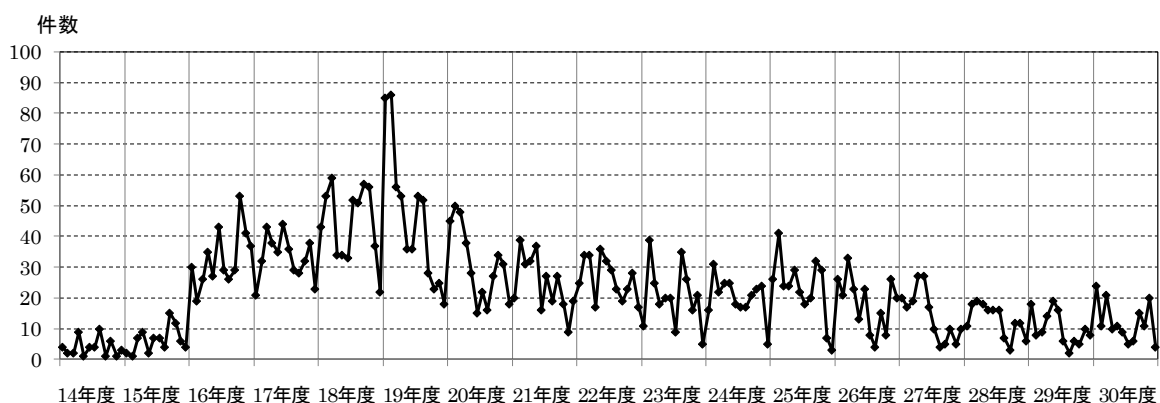
(1) 相談件数の推移

年度ごとの相談件数は、感染症情報センターが県庁から移管された平成16年度に大きく増加し、最多となった平成19年度まで増加が続いたが、その後は減少傾向にある。しかし、平成30年度の相談件数は147件で、前年の121件を26件上回った(表IV-5-1)。

表IV-5-1 年度別相談件数

年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
相談件数	47件	76件	395件	399件	531件	551件	372件	294件	317件	245件	244件	275件	220件	171件	154件	121件	147件

月別の相談件数は平成19年度以降、年度前半(4月～9月)の合計相談件数が年度全体の54.3%～74.3%で、後半(10月～3月)より多い状況が続いている(図IV-5-1)。



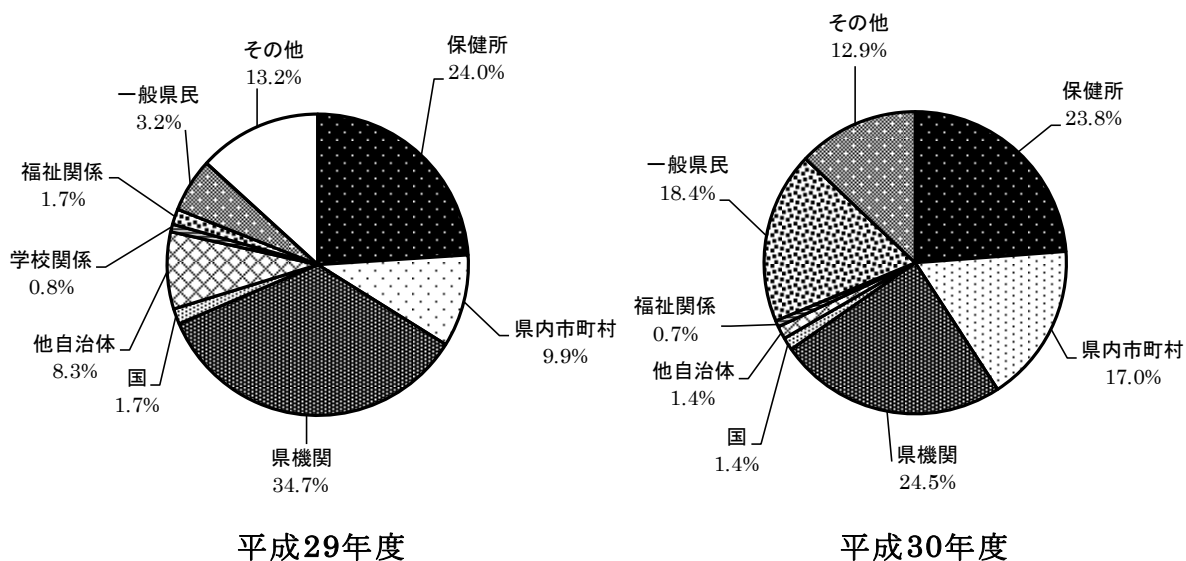
図IV-5-1 月別相談件数の推移

(2) 相談者の属性

相談者の属性を件数及び割合で見ると、1、2位の順は前年度と同様であったが、3位は異なって、保健所を除く県機関、保健所、一般県民の順であった。最多であった保健所を除く県機関は36件(24.5%)と、前年度の42件(34.7%)を下回った。また、一般県民からの相談は27件(18.4%)と、前年度の7件(5.8%)より大きく増加した。なお、主な相談者属性の内訳は、県機関(36件・24.5%)は県保健医療部各課等の職員、他自治体(2件・1.4%)は、他都道府県立の保健・衛生・環境の研究所及び他都道府県内の市保健所であった。また、その他(19件・12.9%)の属性は、通信・報道関係機関、医療関係者、一般個人(県内外不明)等であった(表IV-5-2, 図IV-5-2)。

表IV-5-2 相談者別・相談内容別 相談受理件数

	感染症全般	疾患について	麻しん	検査	予防接種	O157等	食中毒	研修	システム関連	インフルエンザ	その他	計	割合
保健所	3	7	2	3		2	1	2	2	3	10	35	23.8%
県内市町村	1	8		1	6	2				6	1	25	17.0%
県機関	10	6	3		5	5		1		4	2	36	24.5%
国		1							1			2	1.4%
他自治体											2	2	1.4%
福祉関係											1	1	0.7%
一般県民	1	4	11	2	1					7	1	27	18.4%
その他		3	2	1					1	7	5	19	12.9%
計	15	29	18	7	12	9	1	3	4	27	22	147	100.0%
割合	10.2%	19.7%	12.2%	4.8%	8.2%	6.1%	0.7%	2.0%	2.7%	18.4%	15.0%		100.0%

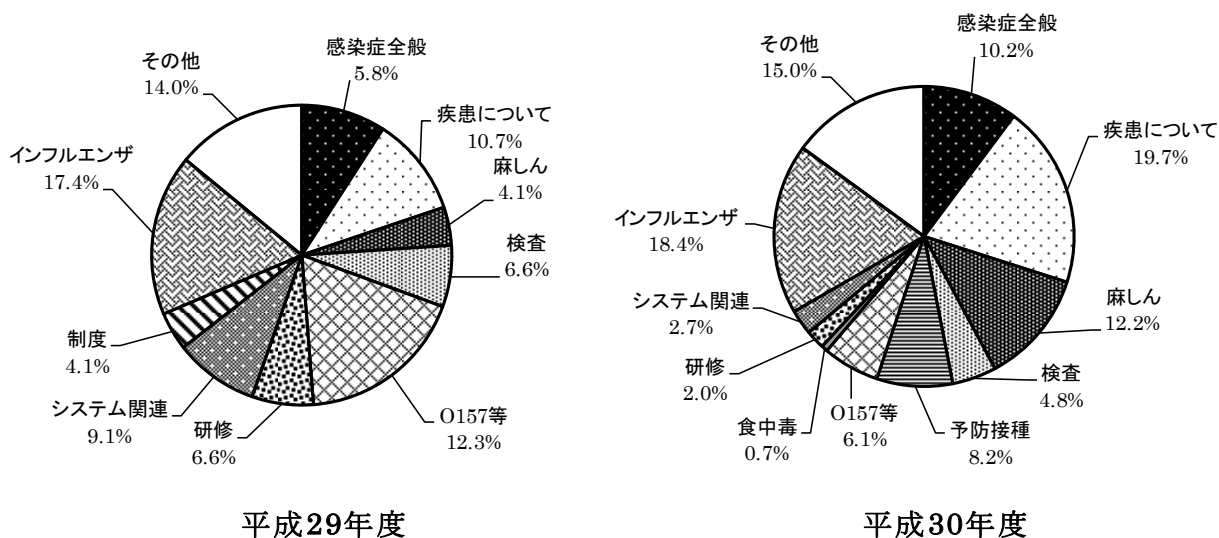


図IV-5-2 相談者内訳

(3) 相談内容

相談内容分類では、「疾患について」29件(19.7%)、「インフルエンザ」27件(18.4%)、「麻しん」18件(12.2%)の順で相談が多かった。「その他」は22件(15.0%)であった。「疾患について」(13件・10.7%→29件・19.7%)、「麻しん」(5件・4.1%→18件・12.2%)及び予防接種(0件・0.0%→12件・8.2%)は前年度からの顕著に増加した。一方、「O157等」(22件・18.2%→9件・6.1%)、「システム関連」(11件・9.1%→4件・2.7%)、「研修」(8件・6.6%→3件・2.0%)及び「制度」(5件・4.1%→0件・0.0%)は、明らかに減少した(表IV-5-2, 図IV-5-3)。

「疾患について」は、県内市町村からの相談が最多で、次いで保健所、県機関の順であり、風しんの相談が約4分の1を占めた。「インフルエンザ」は、一般県民、県内市町村、県保健医療部担当課、保健所の他、通信・報道関係機関からの相談も多く見られた。相談内容は、流行情報(データ提供依頼を含む)に関するものが最多であった。「麻しん」は、一般県民からの相談が最多で、その多くがe-mailによるものであった。



図IV-5-3 相談内容分類

(4) 相談方法

相談方法別では、電話による相談が 118 件(80.3%)と最も多く、次いで e-mail によるものが 27 件(18.4%)だった(表 IV-5-3)。

表 IV-5-3 相談方法別 相談件数

電話	e-mail	来所	その他	総計
118	27	1	1	147
80.3%	18.4%	0.7%	0.7%	100.0%

6 ホームページによる情報提供

感染症情報センターでは、主として医療機関や市町村等関連機関への迅速かつ正確な感染症に関する情報の提供という視点から、埼玉県感染症情報センターホームページを運営している。

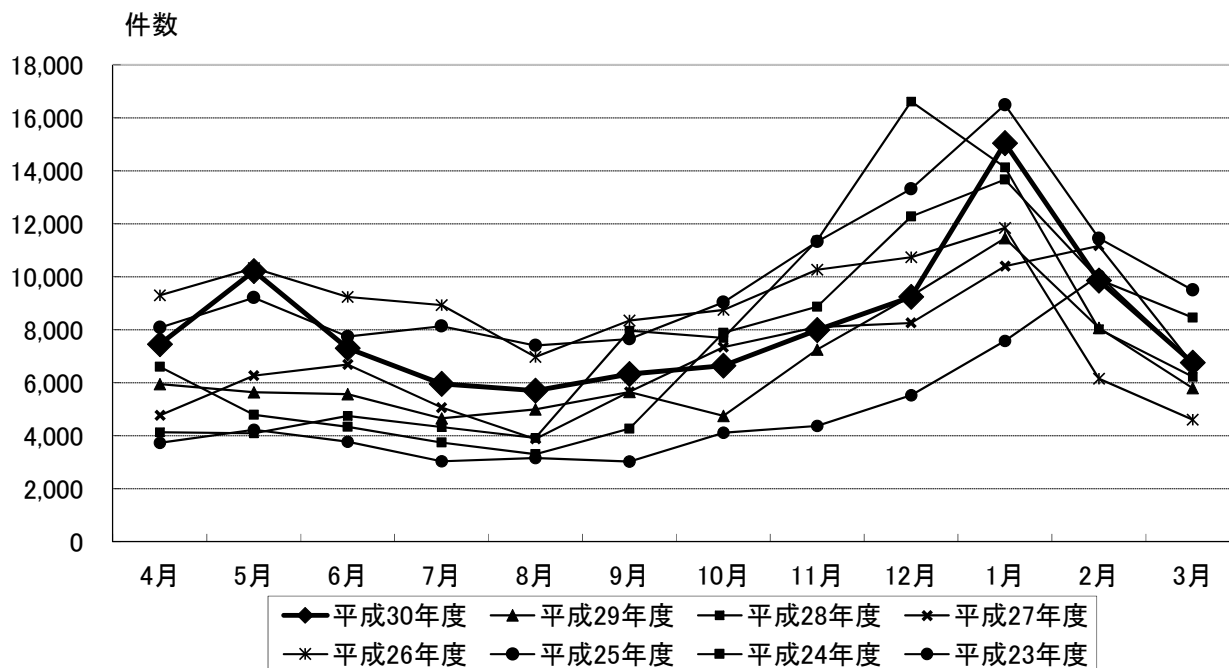


図 IV-6-1 感染症情報センタートップページアクセス件数

感染症情報センタートップページの月別アクセス件数を図 IV-6-1 に示した。平成 30 年度のアクセス件数を見ると、最も多い月が 1 月(15,046 件)であり、次いで 5 月(10,210 件)であった。1 月のアクセス数としては平成 25 年度に次ぐ値となっており、過去 8 年間全ての月別アクセス数と比較しても 3 番目に多い値となっている。また 5 月のアクセス数は平成

26年度に次ぐ値となっており、昨年度同時期の約2倍となっている。その理由として、平成30年度はインフルエンザが1月中旬にかけて大きく流行し注目を集めたことと、3月末に沖縄県内で発生した麻しんの集団感染事例や4月に埼玉県内で麻しん患者が発生したことに伴い、麻しん及び風しん流行状況並びに感染症の基礎知識のページのアクセス件数が大きく増加したためと推測される。例年と比較して、麻しん及び風しんの流行の為アクセス数全体の増加はみられたが、7月～9月にかけて減少し、12月～1月にかけて多くなる傾向は今年度も同様であった。

また麻しん及び風しん流行状況のページは8月以降の風しん患者の増加に伴い、9月5日更新分より従来のラインリスト式記載から風しんの病型別報告数、性年齢階級別報告数、男女別ワクチン1回目接種歴の3つのグラフでの表現に変更となっている。

ホームページでは、患者発生情報のほか病原体検出情報についても掲載し、一か月に1回程度の更新を行っている。この更新情報は感染症発生動向調査週報に掲載したもので、病原体検出情報のほか、感染症の流行等を考慮に入れ、時期に合ったテーマをトピックスとして掲載している。表IV-6-1に、平成30年1月～平成31年3月に掲載したトピックス内容一覧を示した。

表IV-6-1 ホームページトピックス内容一覧

月	内容
平成30年1月	2017/18シーズンのインフルエンザウイルス検出状況について
3月	風しん
4月	麻しん
4月	埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況 2017年
5月	流行期のインフルエンザについて
7月	手足口病
8月	咽頭結膜熱
8月	A型肝炎
12月	風しんウイルスからみた風しんの流行状況
平成31年2月	感染性胃腸炎からのウイルス検出状況
3月	埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況 2018年